

平成 27 年度 厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助研究

厚岸湖・別寒辺牛湿原の保全・再生における「地域の知」

- 水生生態系サービスの持続可能な管理と利用のガバナンスの展望

上智大学国際教養学部 伊藤毅・金慶一・上野陽菜子

要旨

本研究では、水産資源利用者がどのようにして限られた自然資源の重要性を理解し、持続可能な資源の利用と管理へと繋げるのかを考察する。考察にあたり、本研究では北海道・厚岸町におけるカキ・エビ漁業者の、環境変化によってもたらされる資源の枯渇という問題への対応に焦点を当てる。カキの大量斃死、エビ籠漁の漁獲量の減少、そして 2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災による津波など、厚岸町のカキとエビ漁業者は様々な環境変化に直面してきた。こうした環境変化が契機となり、持続可能な有限資源の利用と管理の実現に向け、厚岸町の漁業者達はそれぞれの養殖や漁業のあり方を見直した。それらの改革の過程を精査することで、開発と保護の両立を目指した環境ガバナンス構築に向けた政策提言を試みる。